



こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団週刊ニュース

発行 日本共産党高知県議団
編集 細木 良
No.735 2023年12月24日
市議会控室 823-9404
ファックス 823-9558
携帯090-8972-1478
高知市介良乙3668-11

このニュースは政務活動費の一部を活用しています

《12月議会報告》

浜田知事“合口発言”

「間違っていない。撤回しない」

12月15日、共産党県議団を代表して、岡田よしひで議員が登壇、2期目最初の議会となった濱田知事の政治姿勢をたどりました。

知事選と同時に行われた市長選挙での応援演説の中で出た「のど元に合口(小刀)を突き付けられた思い」「選挙は戦い。殺さなきゃ殺される世界」といった自分の意見に“共感”しないものは『敵』との姿勢は、人権に対する認識が問われる問題だと指摘。知事は「わかりやすくするための例え話、TP0はわきまをえなければいけないが、発言は間違っていたとは思わない。発言の撤回はしない」と答弁しました。

知事の言う「共感と前進」の“共感”は県民の厳しいくらしや県民の思いに対する共感ではないことが示されたと同時に人権意識の欠如、意見のちがいを認めない不寛容な政治姿勢があらわになりました。

＜その他の質問と答弁要旨＞

○県内港湾の軍事利用について

問) 新聞報道では、県内の宿毛湾港、須崎港、高知新港を有事の際の防衛力強化のため「特定重要拠点」として指定候補としていることが明らかになった。米戦略の一翼を

担うものであり県民の安全・安心を脅かすことになるのではないかと。

知事) 11月15日に国から3港を候補としているとの説明があり、広く情報の公開と所在地の首長をはじめ県民に対し内容の説明を行ってほしいと要請した。

平時の際、利用可能な時間に自衛隊が訓練を行うことであり直ちに県民の安全・安心を脅かすものではない。

○関西戦略の見直しを

問) 大阪万博の費用増大に中止や見直しを求める世論が大きい。本県の関西戦略は見直すべきではないか。知事) 国民の理解を得て、政府を挙げてしっかり万博に取り組んでほしい。外商拡大など絶好の機会であり、関西戦略の万博・IRの位置づけを見直す考えはない。

○こども医療費助成

問) 県が来年度創設する「人口減少対策総合交付金」の活用について、どのような仕組みでこども医療費助成を支援するのか。

知事) 県内の自治体に年300万円～7500万円を4年間交付する「基本配分型支援」(※別途連携加算型もあり)での活用を想定している。

*その他、ケア労働者の処遇改善、農政、中山間再興ビジョン、ジェンダー格差改善等の問題を取り上げました。

-----細木りょうの“まいゆう日誌”-----

● 介良川右岸の堤防道路に直径10センチ越の雑木や雑草が生えており、県土木事務所に伐採を要望していました。このたび伐採した上でアスファルトが舗装され、きれいになりました。



19回目となった「私たちの主張」イベントで「花はどこへ行った」など平和を願い演奏しました♪

はみだしヴォイス あたご劇場で「福田村事件」が上映されています。100年前、関東大震災後に流言により朝鮮人等の大量虐殺事件が起こりましたが、日本人の犠牲者も少なからずいたことは歴史の事実です。できるだけ多くの方に鑑賞していただきたい作品です。今年最後のニュースとなりました。今年もお読みいただき、ありがとうございました！来年は5回目の「年男」です！